申込不要
参加費無料

講演と映画
～桂坂まちづくりの原点を探る～

『桂坂の開発の歴史を知り、古墳の森復活と保存を目指して』

とき：　平成２２年９月２６日（日）　会場：洛西ふれあい会館

講演と映画　　第１ 研修室　　13：30～16：30（13：15 開場）

古墳出土品展示　第２､３ 研修室　12：30～16：30

共　催：桂坂学区自治連合会　桂坂地区建築協定協議会　古墳の森保存会準備会

桂坂の真ん中には古代より「大枝山古墳群」があり、現在このエリアは「古墳の森」と称されています。桂坂開設当初は「古墳公園」として整備され、住民が自由に散策し或るときは“オカリナ演奏会”も開催されたことを記憶されておられる方もあると思います。しかし現在は雑木が生い茂り、当時の姿は日々薄れつつあります。この大枝山古墳群は重要な史跡、文化財として位置付けされており、桂坂地域以外からも強い関心が寄せられています。　私たちは今一度桂坂開発の原点を学び「古墳の森」の復活とその保存を目指す運動に関心を持つことを通じて、より美しい景観と住環境づくりを進め、我がまちへの愛着をもっと深めたいと考えます。

プログラム

13：30～13：40　開会挨拶

第１部　基調講演

13：40～14：40　「桂坂のまちづくりで目指したもの」　大阪工業大学 教授　道家 駿太郎氏

＜休　　憩＞

第２部　大枝山古墳群を知る

14：50～15：30　☆映画上映：古墳発掘記録映画『大枝山古墳群』　（株）松竹京都撮影所　兼田 文隆氏

15：30～16：10　☆講　　演：大枝山古墳群の成り立ちとその発掘保存の意義

（財）京都市埋蔵文化財研究所　丸川 義広氏

第３部　桂坂の今後

16：10～16：20　「古墳の森」保存に関して今後の構想　古墳の森保存会準備会

16：20～16：25　大枝山古墳を巡るまち歩き　桂坂夢まちプロジェクト

16：25～16：30　閉会挨拶

＜講演者のプロフィール＞・・・登壇順

道家 駿太郎氏

東京藝術大学大学院美術専攻科建築専門課程修了。一級建築士。桂坂開発の基本設計、及び、それをより具体化した**「自然環境形成計画」**の策定中心メンバーとして、桂坂まちづくりの根幹に深くかかわる。(株)地域計画建築研究所[アルパック]を経て、現在、大阪工業大学･工学部(空間デザイン学科)教授、(社)日本建築家協会近畿支部京都会会長をされている。また、近年は、京都市が「新景観政策」進化のために設置した「京都市景観デザイン協議会」の委員としても活躍している。

兼田 文隆氏

（株）松竹京都撮影所プロデューサー。桂坂開発当時、大枝山古墳群の発掘保存の経過をフィルムに収め、史跡保存をテーマとした記録映画の制作を担当した。

丸川 義広氏

（財）京都市埋蔵文化財研究所･統括主任。桂坂開発時、当地域に存在が確認されていた大枝山古墳群の発掘調査を担当し、古墳群の特性、文化的意義等を発表。発掘遺物の記録、保存管理を行った。